

横浜市インフルエンザ流行情報 11号

横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

市内の報告数が警報の解除基準値を下回りました。

【概況】

2019年第7週(2月11日～17日)の定点^{※1}あたりの患者報告数は、横浜市全体で **8.91** となり、流行警報解除基準値(10.00)を下回りましたが、依然として流行は続いています。

同様に、学級閉鎖等も第7週は19施設となり、前週の68施設^{※2}から減少していますが、依然として小学校を中心に報告は続いています。保育園での集団発生の報告も続いており、お子さんがいるご家庭での感染予防が重要です。

また、病院や高齢者施設等での集団発生も報告されています。各施設での持ち込み防止や感染拡大防止対策を徹底しましょう。

今シーズンの第7週までの迅速診断キットの結果は、累計でA型99.7%、B型0.3%と、A型が多く検出されていますが、B型はわずかに増加しています。市内のウイルス分離・検出状況は、2018年はAH1pdm型が多く検出されてきましたが、現在ではAH3型の割合が多くを占めています。

インフルエンザの流行は続いているため、正しい手洗い^{※3}等の予防、咳が出る時のマスクの着用及び早期受診などの対策^{※4}は引き続き重要です。

(警報解除ですが、B型の動向を考慮し、しばらく流行情報は発出します)

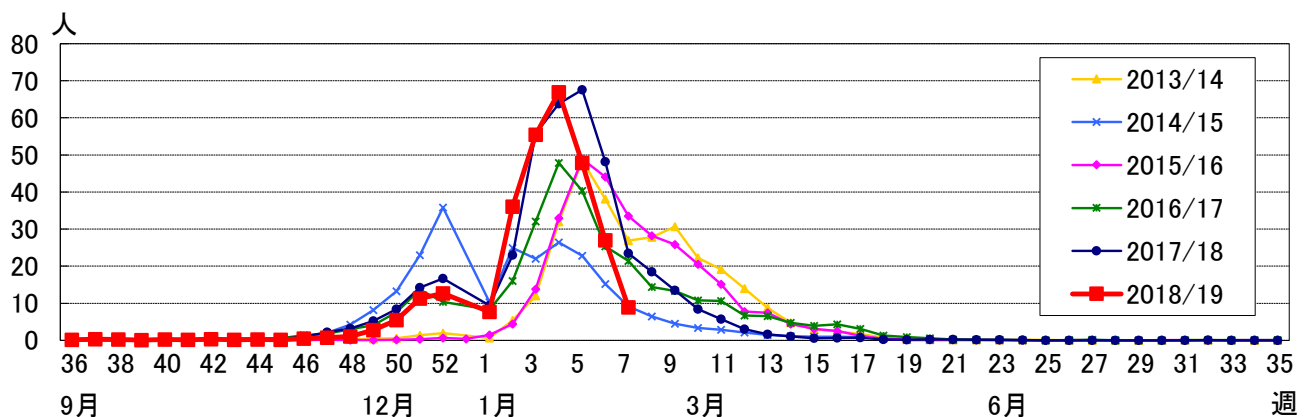
※1 定点とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内153か所)のことで、そこから報告された患者数の平均値が定点あたりの患者報告数です。

※2 追加報告があったため、以前お知らせした情報から報告数が更新されています。

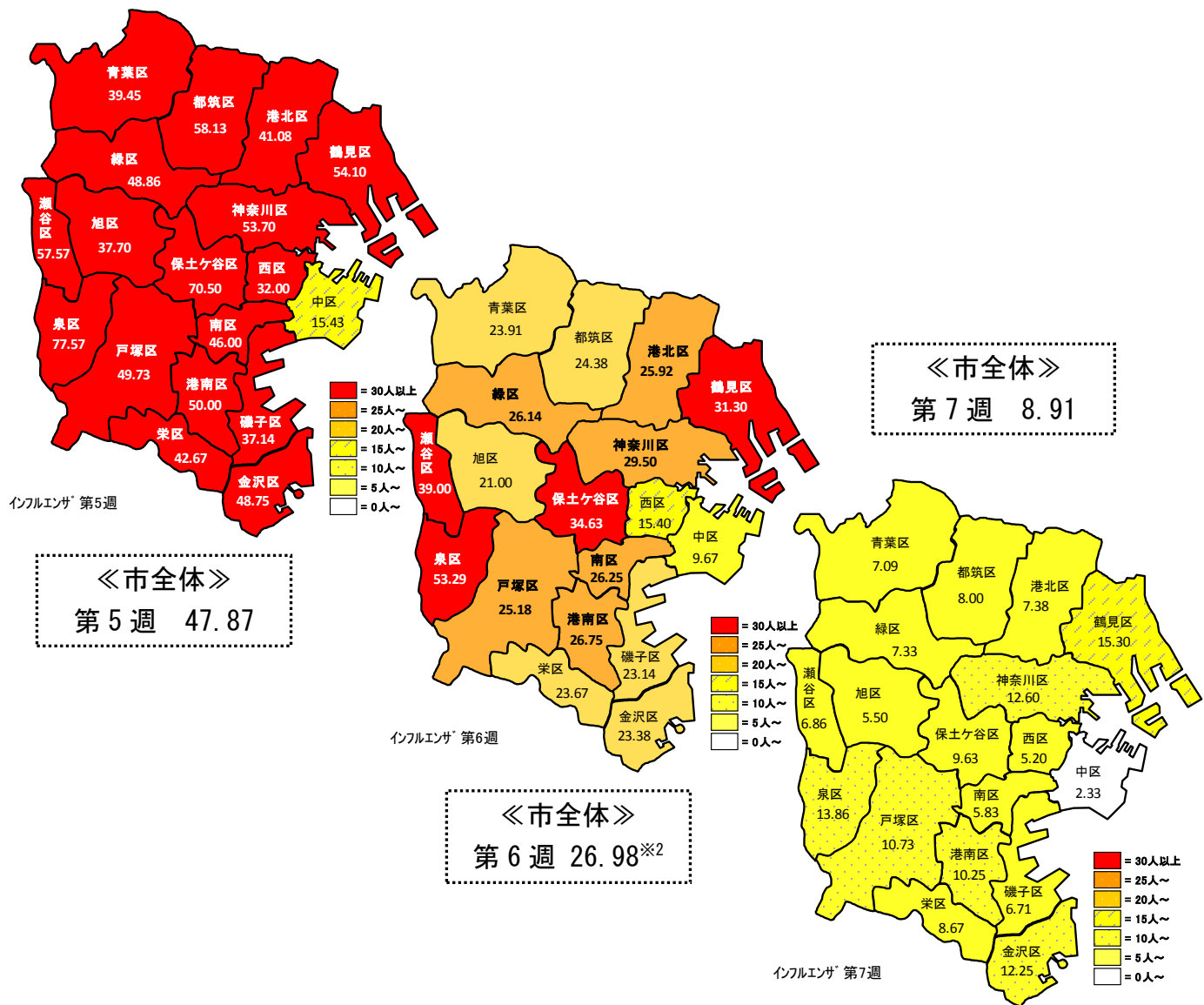
※3 [横浜市保健所ホームページ](#)(「正しい手洗い方法」および、掲示用ポスター「石けんで『手』を洗おう」、チラシ「咳エチケット」をトップページに掲載しておりますので、是非ご活用ください)

※4 [市民向けインフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

1 市内流行状況:市全体の定点あたりの患者報告数は、第7週(2月11日～17日)で8.91となり、前週の26.98^{※2}から減少し、警報解除基準値(10.00)を下回りましたが、依然として流行は続いています。

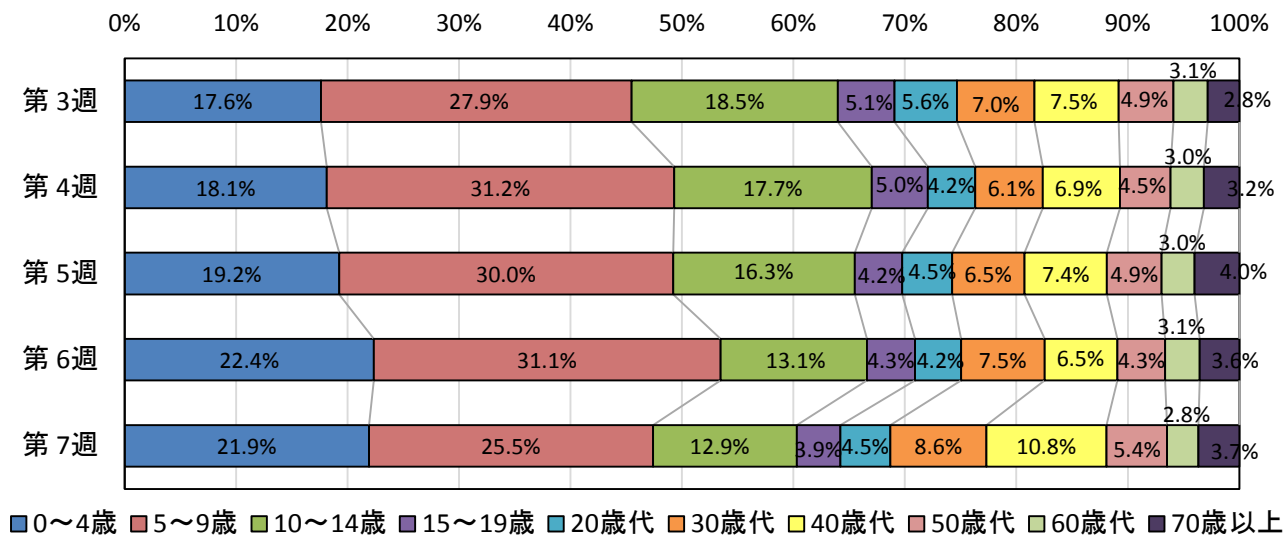


2 地図で表した直近 3 週間の区別流行状況(塗り分けの数字は定点あたり報告数)

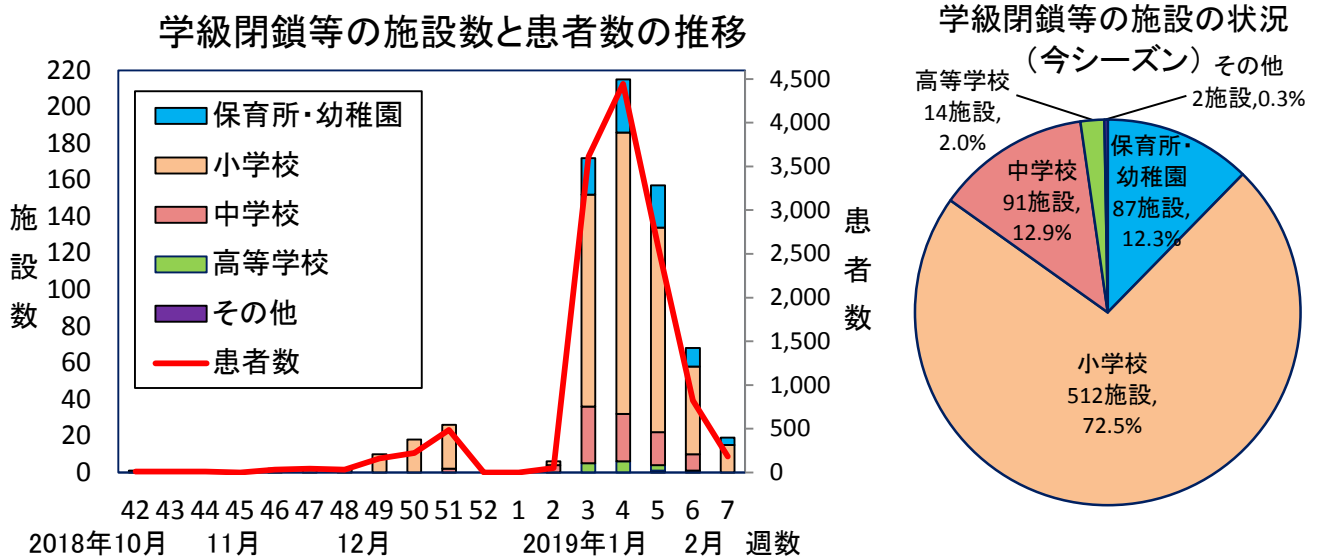


3 年齢層別集計:第7週の患者年齢構成は、5歳未満が21.9%、5歳から10歳未満が25.5%、10歳から15歳未満が12.9%となっており、10歳未満が全体の47.4%、15歳未満が全体の60.3%を占めています。

年齢層別患者割合

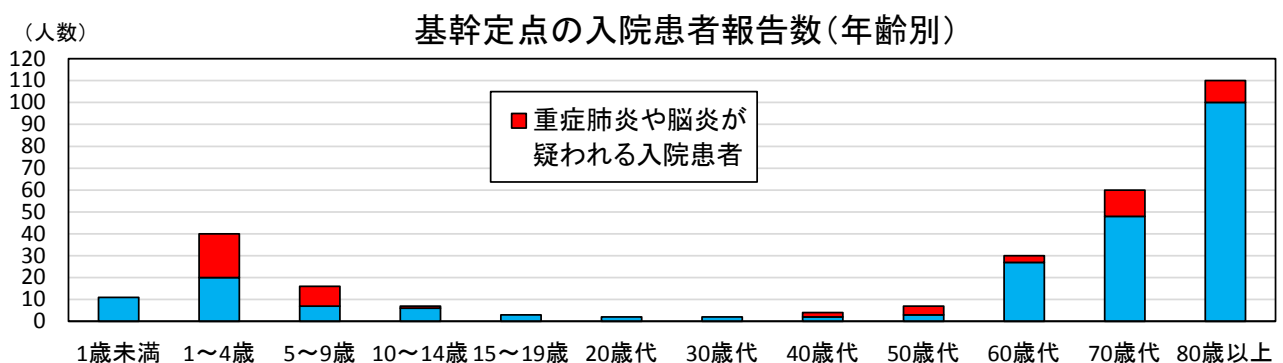
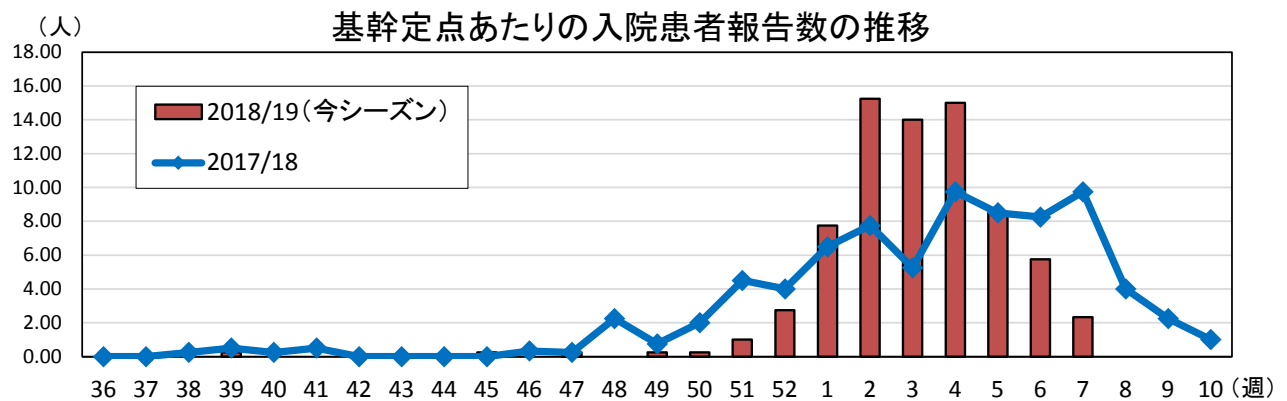


4 市内学級閉鎖等状況:学級閉鎖等は、第7週で19施設(保育所・幼稚園4施設、小学校15施設)、報告された患者数は182人となり、前週の68施設^{※2}、患者数824人^{※2}から大幅に減少していますが、依然として小学校を中心に報告が続いています。今シーズンの報告は累計706施設、患者数は累計12,760人となっています。



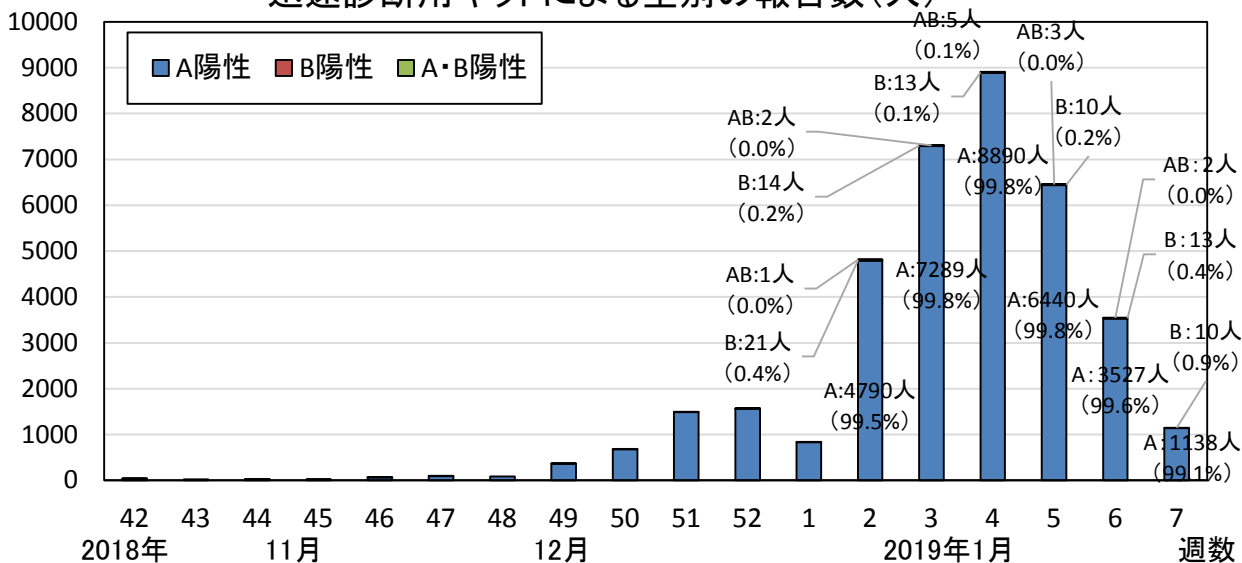
5 入院サーベイランス:市内基幹定点医療機関^{※5}あたりのインフルエンザ入院患者報告数は、第7週で2.33となり、前週の5.75^{※2}より減少しました。入院時の診療内容が把握されている事例で、ICU入室、人工呼吸器の使用、頭部CT検査、脳波検査等が実施された重症肺炎や脳炎が疑われる入院患者は、小児と高齢者で多く報告されています。

※5 基幹定点:患者を300人以上収容する病院(小児科医療と内科医療を提供しているもの)の中から、地域ごとに指定された医療機関のことで、市内には4つの基幹定点があります。



6 迅速キット結果:第7週の迅速キットの結果は、A型99.1%、B型0.9%、A型が多く検出されています。今シーズン累計では、A型99.7%、B型0.3%、A・B型ともに陽性0.0%となっています。依然としてA型が多くを占めていますが、B型の割合がわずかに増加しています。

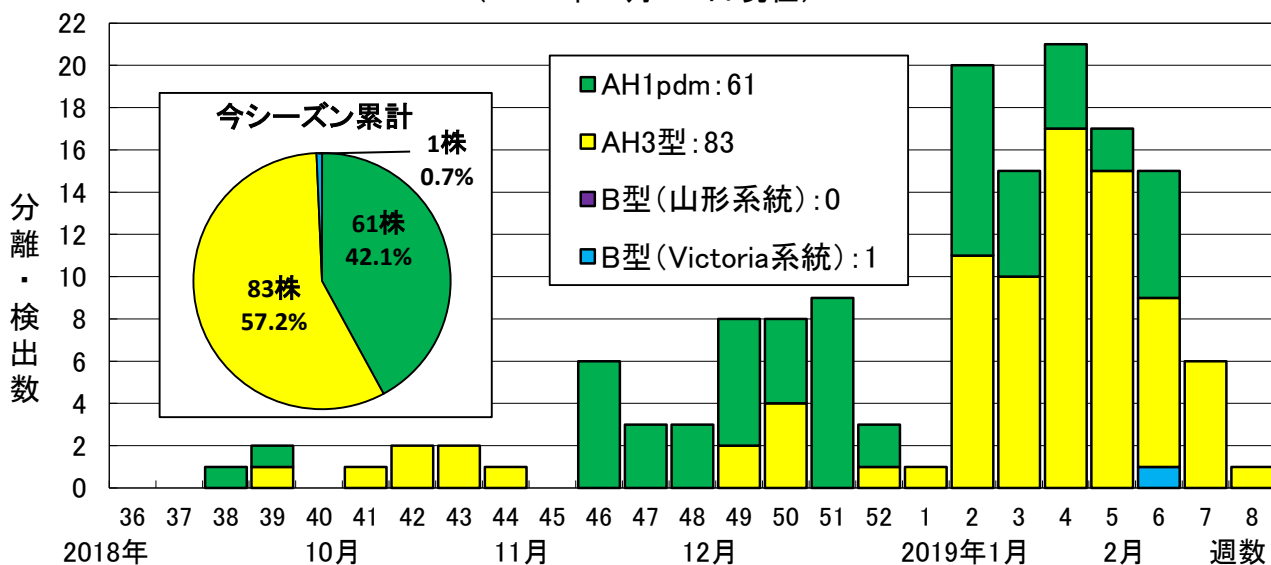
横浜市の患者定点医療機関における
迅速診断用キットによる型別の報告数(人)



7 市内病原体検出状況:市内では病原体定点^{※6}からAH1pdm型(61株)、AH3型(83株)、B型(1株)が分離・検出されています。2018年はAH1pdm型が多く分離・検出されていましたが、現在はAH3型の割合が多くを占めています。

※6 病原体定点:採取した検体を衛生研究所に送付する医療機関で、市内に17か所あります。うち、インフルエンザについては12か所にて採取されています。
(参考)[インフルエンザウイルス分離・検出報告数\(国立感染症研究所、2019年2月20日作成\)](#)

市内病原体定点からのインフルエンザウイルス分離・検出状況
(2019年2月20日現在)



※参考リンク 近隣自治体の流行状況 ○[神奈川県](#) ○[川崎市](#) ○[東京都](#)
全国の流行状況 ○[国立感染症研究所](#)

【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課 TEL 045(370)9237
横浜市健康福祉局健康安全課 TEL 045(671)2445